

平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 2 月稚魚調査 速報

●実施状況

平成 26 年 2 月 4 日に稚魚調査を実施した。天気は曇り～雪で、気温は 5.0～2.8℃と低く、北東よりの風 4.2～5.4m/s とやや強かった。当日は中潮で、14 時 00 分干潮、7 時 48 分満潮（東京都港湾局のデータ）だったが、冬季は昼間の干潮位が高く、城南大橋、葛西人工渚では干潟の干出は少なかった。各地点の概況を下表に示す。

各調査地点における確認個体数は昨年 12 月調査と比較して同程度であった。お台場海浜公園では、ハゼ科のビリンゴが減少したが、ヒメハゼは増加した。お台場海浜公園以外の地点においてマゴチの稚魚が確認されたが、12 月調査に捕獲された個体と同じサイズであった。春を告げる兆候として、お台場海浜公園、葛西人工渚でアユの稚魚が確認された。昨年度（平成 24 年度）よりは出現がやや遅い傾向である。

2014/2/4	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋
作業時刻	13:40-14:40	10:30-11:10	11:45-12:25
水温 (°C)	8.9	10.3	10.8
塩分	27.9	27.4	20.4
透視度 (cm)	34	80	84
D0 (mg/L)	9.1	10.9	8.7
D0 飽和度 (%)	89.5	95.1	89.2
波浪 (m)	0.1	0.1	0.4
pH	8.2	8.2	9.9
水の臭気	無臭	カビ臭 (微)	カビ臭
備考			当日は干潟の干出が少なかった。

注)値は速報値のため変更の可能性もあります。

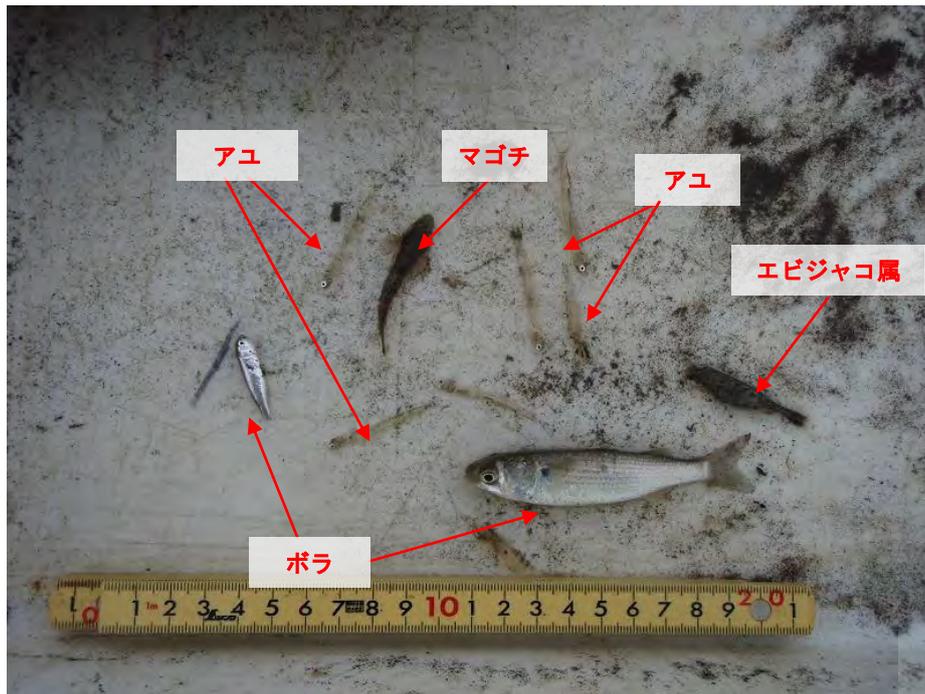
●主な出現種等(速報なので、種名等は未確定です)

主な出現種等	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋
魚種 (多い順 ^注)	アユ (+)	ヒメハゼ (c)	マゴチ (+)
	マゴチ (r)	アユ (+)	ヒメハゼ (r)
	ボラ (r)	ビリンゴ (+)	
		スズキ (r)	
		クロサギ (r)	
魚類以外	エビジャコ属 (r)	ニホンイサザアミ (r)	エビジャコ属 (c)
	シラタエビ (r)	イソコツブムシ属 (r)	
備考	アユの稚魚はお台場のものより大型だった。	アユの稚魚は 20 個体近く確認された。ビリンゴには婚姻色が出ていた。	

注)表中の () 内の記号は大まかな個体数を表す。

G:1000 個体以上、m:100～1000 個体未満、c:20～100 個体未満、+:5-20 個体未満、r:5 個体未満

葛西人工渚 採取試料



調査地点の様子



地引網作業状況（海岸に対し垂直に曳網した。）

確認魚

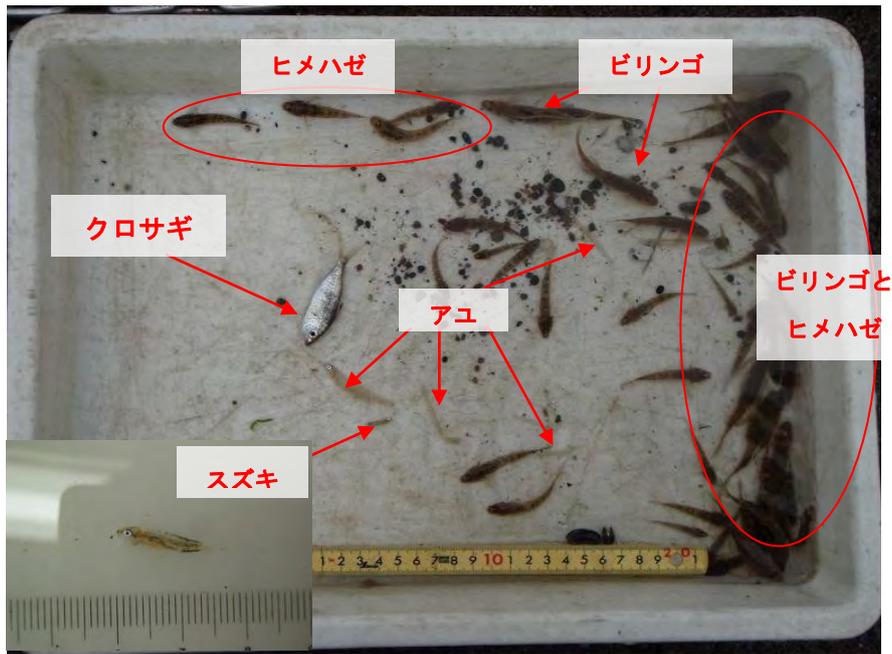


約 5cm のものが 2 個体確認された。12 月調査時より成長していない。冬季で水温が低く、餌生物も少ないため、成長が止まっている可能性もある。



約 5 cm ものが 6 個体確認された。アユの稚魚は、東京湾の干潟で例年確認される。葛西人工渚で確認される系群は、荒川、江戸川に遡上するものと思われる。

お台場海浜公園 採取試料



調査地点の様子



地引網調査の様子

確認魚

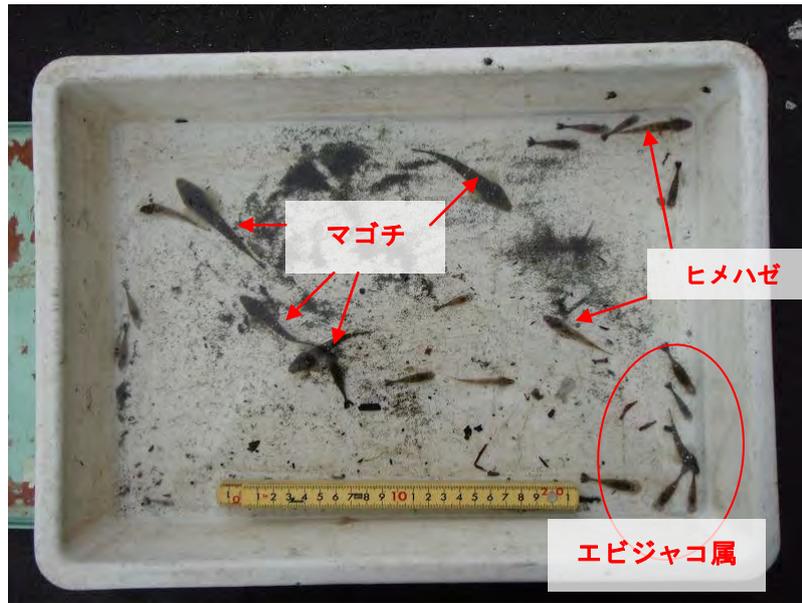


約 1.5～4.5cm の稚魚が確認され、葛西人工渚と比較して、大きさにばらつきがあった。多摩川、隅田川、荒川と複数の河川に遡上する系群が、混在している可能性がある。



成魚が 10 月調査から継続して確認され、今回は婚姻色の出たオスや、抱卵していると思われるメスも確認された。お台場周辺で産卵を行う可能性が高い。

城南大橋 採取試料



調査地点の様子
(干潟の干出は少なく、波がやや高かった)



地引網調査の様子

確認魚



マゴチの稚魚は約 5~8cm のものが確認され昨年 12 月調査時とサイズは同じ程度であった。本年度も城南大橋では長期にわたって、マゴチの稚魚が確認されている。



ヒメハゼは、お台場海浜公園の個体と同じサイズの約 4~5cm であったが、個体数は少なかった。